

株式会社藤橋商店

笑顔と喜びと活気に溢れ、
日本の食の力を取り戻す!

商号	株式会社藤橋商店
本社所在地	姫路市相野115番地
創業年	1915年(大正4年)
設立年	1956年(昭和31年)
資本金	2,900万円
従業員数	180名(グループ全体)
事業内容	畜産飼料・鶏卵販売、養鶏・農業事業、飲食業、流通業、コンサルタント

企業の生い立ち

藤橋商店の起源は、岐阜県藤橋村(現:揖斐川町)に遡ります。現社長の曾祖父利吉は優れた土木建設の親方として関西に向かって鉄道路線の工事を続け、網干まで来た所で工事が終わり余部区下余部に住むことになります。

その後、祖父豊二郎が1915年に畜産飼料販売を始め「藤橋豊二郎商店」を興したのが我社の創業になります。そして、伯父雄男が二代目として引継ぎ1956年に会社化しました。伯父の急病のため、父孝夫が商社を辞し1988年に三代目として経営を引継ぎました。そして、現社長拓志が2003年1月40歳の時に四代目となります。

藤橋家グループとは

我社は鶏や牛等々の畜産飼料販売を行い、特に飼料販売先の養鶏農家から鶏卵をほぼ全量仕入れをし、包装して販売する仕事を早くから行ってきました。現在、兵庫県内に3つ、岡山県に1つの養鶏場をグループ会社として経営しております。これらの養鶏場は全て経営が行き詰まった会社を引取り、設備を刷新し、経営改革を行ってきた会社です。だから絶えず経営危機の中にあっただと言えます。しかし、この養鶏事業を自ら行うことで現在があり、新たなSDGsの事業の展開も行うことができると運命の尊さに感謝しています。今年の4月に藤橋商店グループ4社全てに私達の心は一つであるという想いで『藤橋家(ふじはしや)』の称号を冠に付けて社名を一新しました。そして、太市駅前に新たな鶏卵パッキング工場を完成させ本社と統合することができました。



日本一の『夢王』を産む鶏達

藤橋家経営理念

我社の夢と理想を掲げ、存在意義を示し、何を目指して経営を進めていくかを掲げるのが経営理念です。そして、本当に良い会社になりたい、人の世のために価値高く役立つ会社になりたいという想いで、四代目が会社を引継いだ3年目の2006年に新たな経営理念を創り掲げました。

『笑顔と喜びと活気に溢れ 優れた多くの人が集い 真に社会に貢献し

食の源である 畜産農林漁業を支え発展させる 日本一の創造力みなぎる企業となる』

そして、同時に新卒採用を始め毎年定期的に人財の採用と教育に力を入れています。



夢前町で飼料米を収穫中

我国の食の力を取り戻すためのSDGs事業

養鶏場で生産される素晴らしい有機肥料(鶏糞)を活用するために僅か3反で2007年に農業を始めました。現在は、我社は約32町歩の農地を耕作しています。そして、協力農家様と合わせると、養鶏用の飼料米を約200町歩耕作し、藤橋家の養鶏の飼料として飼料米を給与しています。これは鶏糞を協力農家様に存分に活用してもらい、化学肥料と農薬を極力抑えて栽培する農耕畜産連携の循環型事業(SDGs)に他なりません。養鶏事業なくして成り立ちません。そして、耕作面積を一千町歩を超えることで我国の食の力の変革の力になることを目指します。

200年企業となるための「藤橋家の誓い」

我社は中小企業ながら10ヶ所の事業所があります。そこで何処にいても心一つにできる企業のバイブルがなければならぬという想いで2015年の100周年に『藤橋家の誓い』という経営者の経営への想い、そして、何のために生きるのか等の哲学や行動規範を約30頁に纏め全社員に配布し、10章に分けて朝礼に読み上げています。松下幸之助翁が言う通り、我社が販売するのは『藤橋家経営理念』であり、「財を残すは下、事業を残すは中、人を残すは上」を目指し続け、次の100年、200年企業を目指しています。



我社のバイブル「藤橋家の誓い」



太市駅前の新鶏卵工場と
本社社屋

since 1915